

# THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A. THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21

山梨県甲府市中央5丁目4-11  
山梨YMCA青少年センター  
〒400-0032 TEL 055-235-8543  
FAX 055-235-8553

国際会長主題：私たちは変えられる  
アジア太平洋地域会長主題：アクション！  
東日本区理事主題：為せば、成る  
あずさ部長主題：未来はそれに備える人のものである  
甲府21クラブ会長主題：世代を超えて、笑顔で奉仕

Moon Sang-bong (韓国)  
田中 博之 (東京多摩みなみ)  
宮内 友弥 (東京武蔵野多摩)  
廣瀬 健 (甲府21)  
野々垣健五

甲府21ワイズメンズクラブ  
2018年11月会報  
強調月間  
ワイズ理解 ファミリーファースト

## 今月の聖句

恐れることはない、わたしはあなたと共にいる神。たじろぐな、わたしはあなたの神。

イザヤ書 41章10節 相川貴宏 選

## 会長挨拶 あずさ部部大会を終えて

甲府21ワイズメンズクラブ会長 野々垣健五



野々垣健五会長

「あずさ部部大会」を無事に終える事が出来ました。30名のメン、13名のメネット、3名のスタッフ、全員の力の結集によるものと感動を覚えました。沢山の改善すべき点はあると思いますが、思い出される事を挙げてみたいと思います。

1. 今回の部大会では全てテーブル席にしました。今までは、来客席は椅子だけでしたが、今回は佐藤メンのアドバイスにより、テーブルを置いてクロスをはり、メモ等が出来るようにしました。ひな壇も椅子だけであったものを、テーブル、クロス、名札を用意しました。お花は赤根メンからの大サービスでした。
2. 部大会が廣瀬部長の足引っ張りにならないようにと、佐藤メン、荻野メン、小澤メンが裏で支える事に徹し、寺田書記が全ての「へそ」となって動いてくれました。
3. 部大会冒頭での茅野メンの聖書、祈り、また懇親会での駒田メンの感謝の祈りは、ただの時間の経過となりがちなのを、しっかりと押さえてくれました。
4. 更にスケジュールの時間調整の狂いを功刀先生が見事に締めてくれました。感謝です。
5. 米長メン、作田メンの飛び回りにも感謝です。作田メンの働きにより、ニコニコは70,485円となり、山梨英和学院に献金されました。
6. 山梨英和学院聖歌隊24名によるハンドベルにも感動しました。その目は輝き、礼儀正しく、統制の取れた動きに、英和学院の校訓「敬神・愛人・自修」を思い浮かべました。そして英和学院に私の亡き姉や娘達がお世話になった事を感謝し、懐かしく思い出しました。

今回の部大会開催に当たっての廣瀬部長・まさみ夫妻の努力、また、甲府21クラブのベテラン、チャーターメンバー、中堅、新会員の団結した動き、これ等の成果によって無事に終了する事が出来ました。1年に数回あるイベント、例会、その準備にと、楽しくやれているだろうか？ 甲府21の人々の輪が出来ているだろうか？ これ等を考えながら発信と行動で表現していくべきと考えました。

皆様、ありがとうございました。感謝!!

## 2018年11月例会プログラム

日時：2018年11月6日(火)19:00～

会場：山梨YMCA青少年センター

司会：松村豪夫メン

- |                    |         |
|--------------------|---------|
| ①開会点鐘              | 野々垣健五会長 |
| ②ワイズソング            |         |
| ③ワイズの信条            |         |
| ④今月の聖句と一言          | 相川貴宏メン  |
| ⑤会員スピーチ            | 寺田喜長メン  |
| ⑥会長挨拶              | 野々垣健五会長 |
| ⑦ゲスト・ビジター紹介        | 野々垣健五会長 |
| ⑧ハッピーバースデー         |         |
| ⑨ワイズディナー           |         |
| ⑩ゲスト卓話 甲府一高あおぞら会会長 | 露木和雄氏   |
| ⑪諸報告               | 寺田喜長書記  |
| ⑫YMCAの歌            |         |
| ⑬閉会点鐘              | 野々垣健五会長 |

※進行は変更になる可能性があります

【11月誕生者】

[メン] 廣瀬 健 (11月6日生) 赤根 学 (11月19日生)

[メネット] 米長由紀子 (11月9日生)

【今後の予定】

11月20日(火) 第2例会

12月9日(日) クリスマス例会

## 【卓話者プロフィール】

- 1951年 甲府市古府中本町 (現 天神町) 生まれ
- 1964年 山梨大学附属中学校入学
- 1967年 県立甲府第一高等学校入学
- 1968年 第50回全国高等学校野球選手権大会 (甲子園大会) 山梨県代表出場
- 1970年 慶応義塾大学経済学部入学
- 1975年 山梨県庁入庁
- 1989年 米国アイオワ州経済開発局派遣 (2年間)
- 2012年 山梨県庁定年退職
- 2015年 甲府一高あおぞら会会長に就任  
現在 韮崎にて農業



露木和雄氏

## 2018年10月例会報告

甲府21ワイズメンズクラブ書記 寺田喜長



例会の様子

＝2018年10月2日 山梨YMCA 青少年センター

出席者が40名を超えると、例会会場は満杯、例会当番グループの皆さんは大奮闘。大人数にも関わらず、定刻に野々垣会長の点鐘にて開会、長らく療養されていた甲府21クラブの顔、松村豪夫メンが今月の聖句と一言を担当、そのお話の中で、ワイズに関わる様になった経緯と退院後の充実した日々について触れられました。お元気で何よりです。

今月はYMCA「ぶどうの木」を立ち上げられた山梨YMCA理事・小野興子氏に卓話をして頂きました。信念を持ち、信仰に支えられ、熱意を持って施設を立ち上げられた経緯をお聞きすることが出来ました。高齢者社会の現在までの推移を見据え、さらに今後の社会に対応する受け入れ場所の設置に向け、次に進みつつあると話されました。この事業も含め、新会館建設を計画している山梨YMCAをワイズメンズクラブとして支援していく使命をクラブ総力で果たしましょう。

松本クラブ会員で前山梨YMCA総理事の大和田メンが出席され、松本クラブ創立30周年記念例会と第20回「アジア賞」受賞式へのお誘いアピールがありました。兄弟クラブのお祝いに、また留学生の素晴らしい日本語スピーチを聴きに一人でも多くご参加ください。

野々垣会長よりYMCAバザーへの協力要請があり、まずバザー券、メネット会のコーヒー券を購入、そして5日のバザー委員会出席要請があり、続いて10月20日のあずさ部大会のプログラム及び当日の会員役割担当案の提示があり、会員総力にて大会運営への協力要請がありました。

日時：2018年10月2日（火）19:00～

会場：山梨YMCA 青少年センター

【出席者】

<メン>相川、赤根、飯田、荻野、小澤（公）、小澤（智）、鎌田、功刀、輿水、駒田、作田、佐藤、清藤、露木、寺田、奈良田、野々垣、廣瀬、古屋、藤原、松村（禎）、松村（豪）、葉袋、山県、山本、米長

<メネット>荻野、清藤、寺田、野々垣、廣瀬、古屋、松村（仁）

<ゲスト> 小野興子（卓話者）、大和田浩二、

ぶどうの木職員5名

## 10月例会ゲスト卓話報告

甲府21ワイズメンズクラブ 清藤城宏

山梨YMCA岡島デイサービスセンター「ぶどうの木」の生みの親・小野興子さんを迎え、「ぶどうの木では今、そしてこれから」と題して語っていただきました。

自分の看護・福祉に係わる体験を語られ、医療の在り方が変わってきたことを説明、すなわち疾病の治癒と延命を主目的とする「キュア中心(Cure)」の時代から、慢性疾患や一定の支障を抱えても生活の質(QOL)を維持・向上させ、最期まで人間らしく自分らしく(SOL)地域で家で(地域ケア)その人の道を保つことを目指す「ケア中心(Care)」の時代へと転換しつつある(End of life care)と語りました。

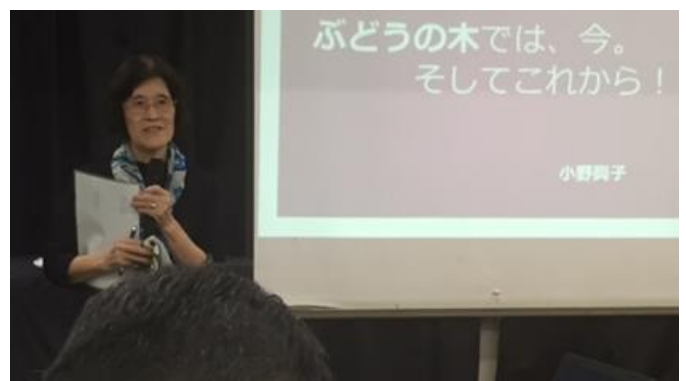
大学を退任する頃、高齢社会を誰もが幸せに過ごし、自分の道を保つ最期を迎えるためには、医療と介護の連携が不可欠と考え「看護と介護」の体制を一人ひとりの状況に合わせて構築・実践するため、2013年7月に「ぶどうの木」を誕生させました。

概要：地域密着型サービス、一日15名、一日5～6名の職員、ボランティア1～2名（登録22名）。利用者平均年齢87.5才、がん・難病疾患など介護が中重度の方が40%以上で利用されている。

特徴：祈りと感謝をもって昼食、個を大切に配慮した入浴、一日のプログラムの自主性、時には利用者がリーダー、手作りのおやつ、絵画・書などの展示、音楽会の楽しみ等。

ぶどうの木のこれから：YMCA新館に難病・ガン患中心専門のケア重症度が高い地域密着型療養介護通所施設とし、6～8人の小規模施設としたい。また共生型サービス（障害児デイサービスと共生）、楽しい場所にしたいと語られ、導かれた聖書のことば（ヨハネ15:3、使徒行伝2:17、ゼカリア14:7）をもって卓話を締めくくられました。

ますます介護を必要とする高齢者の数も急増し、超高齢介護社会に突入した日本。高齢期をどのように生き、また人生の幕引きを如何にするか等を考える恵まれた機会でした。



卓話を行う小野興子氏

＝2018年10月2日 山梨YMCA 青少年センター



## 新会員挨拶

### 甲府21ワイズメンズクラブ 作田あずさ



作田あずさメン

甲府 21 クラブには、2018 年 7 月に入会させていただきました。

ベビーカーコンサート、チャリティーラン、ふくろうキャンプとお手伝いをさせていただき、子どもたちに向ける皆さんの、とても暖かい笑顔や眼差しに魅了され、元気をたくさんいただいております。ありが

とうございます。物事を始めるとき、ふっと頭の中に甦る景色があります。24 歳の時に見たアマゾン川。マナウス付近の 2 つの川が合流する壮大な景色です。

2 つの川はそれぞれ違う色をしています。1 つはサビ色をした黄土色。もう 1 つは深い深い緑色。プランクトンと植物の違いと聞きましたが、合流してもしばらくは混じり合わず、二色に分かれたままどこまでも何 km も流れて行きます。

やがてそれぞれの色は比重が違うため上下に分かれ、下になった色が水玉模様のように丸く少しずつ表面に浮かび現れ始め、長い時間をかけて混じり合い、新しい色となり流れて行きます。

初めてこの景色を目にした時には『まるで人生みたい。人と人が出会い、互いの色を大切にしながら新しい色を創り出してゆく…。』と、心が熱くなりました。

これからの様々な活動を通し、皆さまにいろいろ教えていただきながら、この川のように長い時間をかけ進んで行きたいと思っております。

どうぞよろしく願いいたします。

## 第22回あずさ部部大会報告

### 甲府21ワイズメンズクラブ 駒田勝彦

日時：2018年10月20日(土) 12:00~15:40

会場：岡島ロイヤル会館8階 ゴールドルーム

ホストクラブ：甲府 21 ワイズメンズクラブ

#### 【参加者】

甲府市長、東日本区役員 5 名、他部クラブ 2 名、あずさ部員 + メネット 11 クラブ 96 名 合計 104 名

#### 【第 1 部 あずさ部会】

開会の前に故・平原貞美メン(甲府クラブ)について報告があり全員で黙祷をいたしました。

司会者である、あずさ部書記・古屋秀樹メン(甲府 21 クラブ)により正午に開会が進められました。

開会の点鐘をあずさ部部长・廣瀬健メン(甲府 21 クラブ)により音色も高く行われました。

続いて、ワイズソング及びワイズの信条が唱和されました。

聖書朗読及び祈祷が茅野崚メン(甲府 21 クラブ)、歓迎のあいさつが野々垣会長(甲府 21 クラブ)、廣瀬あずさ部長と続き、来賓と東日本区等の役員の紹介が部書記から行われました。続いて樋口雄一甲府市長から甲府開府 500 年と、今大会への祝辞が述べられました。市長は廣瀬部長と幼なじみとのことでした。次に宮内友弥東日本区理事から東日本区の近況等のお話があり、自身もあずさ部所属なので楽しく思うと話されました。次に山梨 Y M C A 理事長である大澤英二メン(甲府クラブ)から Y M C A 会館が 2020 年度に新しくなることの話がありました。



#### 【主査の報告】

会員増強事業主査：菰淵光彦メン(東京サンライズクラブ)、国際・交流事業主査：小池亦彦メン(富士五湖クラブ)、ユース事業主任：小口多津子メン(東京八王子クラブ)から報告がありました。なお、地域奉仕事業主任：丹後佳代メン(甲府クラブ)は、欠席でした。

#### 【特別講演】

演題：「うつ病と認知症の予防 ～生活習慣と良い眠り(深睡眠)からの提言～」

講師：精神科医 功刀 弘メン(甲府 21 クラブ)

資料は、10 ページにおよぶ立派な資料で 40 個のコマが納められています、先生の講演ではパワーポイントが投影され、100 枚のデータがあるとお話しでしたが、しかし時間の関係でその中から一部の説明となりました。私たちの生活の中で睡眠の質がいかに大切か、そして認知症にならないため日頃の生活を心がけることについてお話がありました。時間が足りず残念なところがありました。



【第2部 懇親会】

この後、写真撮影から第2部の懇親会に入りました。  
 食前の祈り：駒田勝彦メン（甲府21クラブ）、乾杯：次期あずさ部長：赤羽美栄子メン（松本クラブ）

ハンドベル演奏は山梨英和高校聖歌隊が務め、素晴らしい演奏を行っていただきました。

また、「みんなで楽しく唄おう」のコーナーでは杉田博子さんの指導で懐かしい歌を楽しく唄いました。

あずさの道、YMCAの歌と続き、廣瀬あずさ部長が閉会点鐘を行い部大会は終了いたしました。



**会員ペンリレー 歌舞伎鑑賞**  
 甲府21ワイズメンズクラブ 山本敦夫

久しぶりに歌舞伎座で芝居を観てきました。

昔、両親がよく芝居の話をしていましたので、何となく身近に感じておりましたが、あまり観に行く機会もありませんでした。数年前に歌舞伎座が新しい建物になったというので、行く機会をうかがっていたところ、私の好きなテレビ時代劇の「鬼平犯科帳」の長谷川平蔵役の中村吉右衛門が「俊寛」に出演するというので期待して行きました。

他の演目は、松本幸四郎の「松寿操り三番叟」と坂東玉三郎演出の新作歌舞伎舞踊「幽玄」でした。三番叟の人形ぶりは、いかにも糸でつられて動いているような、重さを感じさせない頭や手足の動きがとても見事でした。

「俊寛」は、近松門左衛門原作の「平家女護島」の鬼界ヶ島の場一幕でした。さすがに研究熱心な吉右衛門だけあって、「鬼平」での重厚さとはまた違った迫力と哀切感が良く伝わってきて、客席から盛大な拍手と、大向こうから「播磨屋」（吉右衛門の屋号）の掛け声がいくつもかかっておりました。

そして舞踊「幽玄」の玉三郎の舞踊の見事さ美しさは相変わらずでしたが、新しいことに挑戦する玉三郎らしい演出だけあって、様々に変わる照明、また一糸乱れぬ数十人にも及ぶ鼓の

演奏の音色やリズムだけでなく、大勢の踊り手が花道から舞台いっぱい躍動するそのボリュームの凄まじさは、古典の舞踊しか馴染みのない私には、これが現代の邦楽、邦舞なのかと大いにショックでした。海外に持って行ってもミュージカルにも負けない、大いに喜ばれる演目ではないかと思いました。

この数年「日展」を見に行く機会がありましたが、絵画の分野でも同様の変化が顕著なようで、日本画もカバヤゴリラガリアルに描かれていたりして、思わず笑ってしまいましたし、昔の静物画や風景画を好む私には、少しの違和感がありました。

しかし科学技術だけでなく、文化の面でも変化、進化しているという事だと思います。それだけに、文化に対して人々の意識を高めるための国の政策に期待したいものです。

音楽会、美術館、落語も好きでたまに行きますが、近年、歌舞伎や舞台の名優、名落語家などが亡くなっていきます。いつか、もう一度などと言っているうちに見逃がし、聴き逃すという残念なことが多くなりました。これからは観たい、聴きたいと思った芝居、音楽、落語、美術展などにできるだけ機会を作って出かけて行きたいと思います。近頃、大変出不精になっている私の反省です。

**YMCA便り 産みの苦しみの時を迎えて**  
 山梨YMCA総主事 露木淳司

2018年度の上半期が終わりました。YMCAの事業はここ数年確実に拡大しています。今、高齢者の介護事業「ぶどうの木」に続き、発達障がい児支援事業「きらきら教室」が軌道に乗り出しました。これで学童保育、英語学校、野外活動に加えて5本の柱となっています。

新会館建設後はさらに6本目として0~2歳児のための小規模保育所を計画しています。このすべてが安定すれば山梨YMCAのお城は安泰となるでしょう。

今はまさに産みの苦しみの時だと思います。職員たちは赤ちゃんが生まれるときと同じように、不安でいっぱいの母親やその家族の気持ちで日々過ごしています。2020年のグランドオープンまであと1年半、無事出産のときまで、こぎつくことができるか、まさに神のみぞ知るといった感じです。でもそこはYMCA、ただひたすら主のお支えと導きを信じて、強い意志と希望をもって、日々与えられた職務を迷わず粛々とこなし、前進していくのみであります。

この11月より、正式に山梨YMCAの75周年記念新会館建設募金が始まりました。何卒皆様のご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

在籍者数	30名
第1例会出席者数	26名
第2例会出席者数	23名
メイキャップ他行事参加	2名
出席率	93.0%

項目	ニコニコボックス	バザー収益金	クリスマスオークション	BCコンサート募金	街頭募金ファンド	切手
目標値	250,000	50,000	50,000	50,000	50,000	5,000g
10月計	88,487					g
10月までの合計	180,192	8,750				183g
達成率	72.7%	17.5%				3.66%

9月までの合計 91,705 \*28÷30×100=93.0%